



# SSTL 虹のかけはし

— 私たちからあなたへ —

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会  
〒333-0851 川口市芝新町15-9  
アステール藤野1階

編集人：社会福祉法人 川越にじの家  
障害者支援施設 にじの家  
理事長 菊池崇臣

〒350-0002 川越市古谷本郷992番地  
TEL049-236-0666 FAX049-236-0665  
http://k-nijinokai.com/  
E-mail: niji@k-nijinokai.com  
郵便振替口座番号 00180-5-657610  
◎購読料 1部100円

No. 73

## 新年度に向けて

### 新たな取り組みによる 安定経営を目指して

理事長 菊池崇臣

つい先日、平成三十年度を振り返ってということで原稿を書いたばかりですが、二か月も経たぬうちに今度は新年度に向けてということと本誌を通じて皆様方にご挨拶をさせていただくこととなります。もともと語彙力のない私にとって繰り返し外部へ発信する文章を書くことは得意ではないので、これまで毎回のよう原稿を書いてきた歴代の理事長の方々には尊敬の念に堪えません。ですからあまり格好の良いことは書けませんが、私なりの表現で令和元年となる今年度のご挨拶と法人としてのこれからについて記載させていただきます。ただければと思います。

前号でも少し触れましたが、今年度は第二期中長期五か年計画の初年度となります。昨年度末の理事会で無事に承認を得ることができました。今期の計画では5つの柱を掲げ取り組んでまいります。

1つ目が新規サービス等の開拓です。地元川越の地域ニーズを踏まえ、障害がある方々がこ

れからも地域で充実した生活をしていくために必要な社会資源の開拓など、当法人として寄与できることを模索してまいります。

2つ目が既存サービスの見直しや新たな活動の仕組みづくりです。一部、高橋施設長の寄稿にも記載がありますが、支援課そのものの体制的抜本的見直しや新たな個別支援計画のシステム作りには早々に着手致しておりますが、その他、日中活動の見直しなど、常に現状に満足しない気運づくりも追求していきたくと考えております。

3つ目が地域における公益的な取り組みです。こちらはいわゆる社会福祉法第二十四条に規定されている地域社会への貢献、当法人のマンパワーも含めた強みを活かした活動によって、文字通り地域に根差し開かれた社会福祉法人を目指していきたくと考えております。

以上の3つの柱に関しましては、法人内で部会を設置し、経営陣だけでなく支援現場の職員に参画してもらうことで、モチベーションの向上と4つ目の柱としている人材の育成や5つ目の柱としている安定経営のための経営力の強化につなげていきたいと考えているところです。

もちろん、職員にとっては初めての試みでもありますので、大変さを感じることも思いますが、創造することの楽しさも味わってもらいたいと考えています。

今年度も変わらぬご支援のほど、よろしくお願いいたします。

### 新年度に向けてご挨拶

施設長 高橋 潤

今回の原稿を依頼された時には、ちよつと桜が舞い散る頃で、

元号は「平成」であり、本号が発行される頃には、「令和」となっていることと想います。平成という時代は私にとっても、未知であった福祉の職に就いた時代であり、障害福祉にとって、時世の流れもあり法や制度（措置から契約）も大きく変化したとても意味のある重要な時代であったと考えます。時代は「令和」に変わっていきますが、何より利用者様にとってより良い福祉サービスが提供できること、そしてそれを支える職員との環境が良くなっていくことが望まれることだと思っております。

ここで、当施設のお話しをさせていただきます。当施設の採

用は法人での一括採用ではありませんが、「にじの家」では今春に入職された施設の支援課では新たに7人の新任職員を迎えて、スタートすることになりました。新任職員それぞれ専門・短大・大学で学んではきましたが、当施設の利用者様のことや支援業務については初心者でありますことから、新任研修プログラムやチューター制、OJTを通じて育成していきたいと思っております。

支援課の体制につきましては、これまで個別支援計画は基より直接支援にしましても棟（ユニット）職員、棟のリーダー職員、支援課長という図式でしたが、棟リーダーと支援課長の間（総括主任を2名（A・BユニットとC・Dユニット）を配置して、各ユニットの相談をより取れる体制にしています。これに伴いまして、個別支援計画書も担当からサービス管理責任者の下、総括主任により、A・Bユニットの利用者様、C・Dユニットによる利用者様の個別支援計画立案からモニタリングまでを行うように変更致しました。このため、各ユニットの職員は文書作成業務量を軽減し、より現場での利用者様の直接支





援に力を入れられるように致しました。その分、個別支援計画に関しましては、立案する側の職員と直接支援をする現場の職員との連携が取れるように実施していきたいと考えます。

最後にまとまりのない文章となりましたが、関係者の皆様方には、今後ともご指導・ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

## 2019年度 社会福祉法人川越にじの会事業計画

### 【今年度の事業推進方針】

昨今のめまぐるしい法制度の改正、人口の減少や急速な高齢化、地域社会の脆弱化などといった日本社会が抱える諸課題の中で多様化・複雑化する福祉ニーズの主たる担い手として、我々社会福祉法人に期待される役割はますます大きくなると同時に、国民の目も厳しくなっています。このような状況のなか、当法人も国民や地域に期待される社会福祉法人として使命を果たしていけるよう努めていかなければなりません。そのためには、経営層が先般の社会福祉法人改革の理念を踏まえた経営体制の一層の充実を図ることはもちろんですが、経営層以外の法人職員も国民や地域が当法人のような社会福祉法人に期待する役割を理解し、法人が一丸となって取り組んでいく姿勢が求められるものと考えています。そうしたことを実現していくため、2019年度より5か年計画で下記の5つの事項を推し進めていくことといたします。

- ① 新規サービス（事業）等の開拓 地元川越の地域ニーズを踏まえ、障害がある方々がこれからも地域で充実した生活をしていくために必要とされる社会資源の開拓を検討する。
- ② 既存サービスの見直しや新たな活動の仕組みづくり  
既存サービスの全体的な見直し、作業活動を含めた日中支援上の課題解決、新たな活動のアイデアを検討する。
- ③ 地域における公益的な独自の取り組み 社会福祉法第24条に規定されている社会福祉法人として地域社会に貢献する取り組みについて独自にできる取り組みを検討し、地域に根差した開かれた社会福祉法人を目指す。
- ④ 人材確保と育成 様々な媒体を活用し良質な福祉人材を確保していくこと、そして法人内研修や人事考課制度を有効に活用し人材の育成に努める。
- ⑤ 労働環境の向上と経営層の意識改革  
国が推し進めている働き方改革の趣旨に沿った労働環境の向上、また、経営層は社会福祉法などの関係法令はもちろん、労務関連法令等の遵守に努め、公益的かつ信頼性の高い法人経営を行い、将来に向かって継続性のある公益法人を目指していく。

※なお、上記のうち①～③の事項については、法人内で部会を設置し経営層のみならず一般職員にも参画してもらい推し進めていきます。

## 2019年度 収支予算書

社会福祉法人川越にじの会 収支予算書

(単位：円)

障害者支援施設にじの家 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
経常経費寄付金収入	200,000	人件費	500,000
雑収入	540,000	事業費	290,000
拠点区分間繰入金収入	1,000,000	事務費	45,000
<b>経常収入計</b>	<b>1,740,000</b>	<b>経常支出計</b>	<b>835,000</b>
		(予備費)	905,000
<b>収入合計</b>	<b>1,740,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>1,740,000</b>

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
介護給付費収入	269,500,000	人件費支出	185,429,000
特定障害者特定給付費	4,300,000	事業費支出	35,772,000
障害児施設給付金	6,177,000	事務費支出	24,273,000
利用者負担金収入	21,320,000	利用者等外給食費支出	2,000,000
その他事業収入	1,128,000	拠点区分間繰入金支出	25,500,000
経常経費寄付金収入	500,000	サービス区分繰入金支出	5,000,000
雑収入	4,000,000	<b>経常支出計</b>	<b>277,974,000</b>
サービス区分繰入金収入	5,000,000	固定資産取得支出	6,700,000
<b>経常収入計</b>	<b>311,925,000</b>	(予備費)	27,251,000
<b>収入合計</b>	<b>311,925,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>311,925,000</b>

相談支援事業 収支予算書

(単位：円)

グループホーム 収支予算書

(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
サービス利用計画作成費収入	4,388,000	人件費支出	16,226,000
その他事業収入	5,975,000	事業費支出	885,000
雑収入	200,000	事務費支出	1,296,000
拠点区分間繰入金収入	8,500,000	<b>経常支出計</b>	<b>18,407,000</b>
<b>経常収入計</b>	<b>19,063,000</b>	固定資産取得支出	200,000
		(予備費)	456,000
<b>収入合計</b>	<b>19,063,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>19,063,000</b>

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
訓練等給付費収入	13,820,000	人件費支出	27,383,000
特定障害者特定給付費	480,000	事業費支出	3,105,000
特定費用収入	2,300,000	事務費支出	1,200,000
拠点区分間繰入金収入	16,000,000	<b>経常支出計</b>	<b>31,688,000</b>
<b>経常収入計</b>	<b>32,600,000</b>	固定資産取得支出	300,000
		(予備費)	612,000
<b>収入合計</b>	<b>32,600,000</b>	<b>支出合計</b>	<b>32,600,000</b>

# “新しく職員が加わりました。”

新年度を迎え、  
にじの家にも  
新しい仲間が  
増えました。  
早く仕事にも  
慣れて利用者の方  
一人ひとりにあつた  
支援をしていきます。  
一年間よろしく  
お願い致します。

## 〈紹介の項目〉

- ① 所属棟と氏名
  - ② 作業班
  - ③ 趣味
  - ④ 誰にも負けない事
- 新人職員から皆さんへ

※下記以降は番号で  
内容を掲載します。



私は、人とお話しするのが大好きです。  
A棟に限らず、他棟の利用者の方や、他  
の職員の方ともよくコミュニケーション  
をとっていききたいと思っています。毎日  
が楽しいと思える支援を心掛けていきます。

- ① A棟支援員 高知尾 歩優
- ② 製作班
- ③ カメラを持ってお出かけ
- ④ 笑顔でお話すること



四月からA棟所属となりました、小林  
果鈴です。分からない事ばかりですが、  
業務など早く覚えられるよう頑張ってい  
きます。また、利用者の方々とたくさん  
関わり、世界観に触れ、心で繋がってい  
けたらと思います。

- ① A棟支援員 小林 果鈴
- ② 陶芸班
- ③ 調味料集め
- ④ 楽観的



今年度からC棟に配属された大塩です。  
早く利用者さんのお名前を覚えられるよ  
うに頑張ります。ご迷惑をかけてしま  
うことも多々あるかと思いますが、よろし  
くお願い致します。

- ① C棟支援員 大塩 廉子
- ② 段ボール班
- ③ カフェ巡り
- ④ 粘り強さ



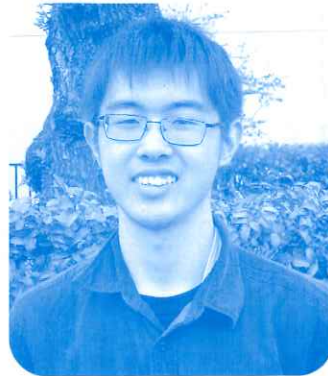
私の自信のあることは、笑顔です。利  
用者の方と関わりを持つ際には、明るく  
笑顔でいることを心掛け、皆様に楽しく  
気持ち良く、過ごしていただける様、頑  
張りたいと思います。よろしくお願  
いします。

- ① B棟支援員 赤井 直人
- ② 分別班
- ③ 筋トレ 体を動かすこと
- ④ 笑顔



今年度からD棟所属になりました石井  
宏明です。まだ慣れないことが多く先輩  
方に教えていただく毎日ですが、早く仕  
事を覚えて頼ってもらえる職員になれる  
ように頑張ります。

- ① D棟支援員 石井 宏明
- ② 職場実習班
- ③ ソフトボール
- ④ 声の大きさは自信があります。



今年から、C棟に所属しました金野京  
介です。私が生活支援員として働く上で、  
利用者の方が自立していけるよう支援を  
行い、職員や地域の方等の関係を大切に  
しながら業務をしていきたいと思  
います。

- ① C棟支援員 金野 京介
- ② 分別班
- ③ 鉄道の撮影をすることです。
- ④ 周囲をすくく気にすること。

今号までにお世話になった  
 紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

方々を紹介致します

《敬 髪》

関口留美子・横山 晃・鶴見修・鶴見真哉

《棟・作業》

谷平秀子

《ご協力頂いた企業》

(株)ソーラ・立原電機(株)・泉名本店・虎屋商事(株)・旬加藤工業・(株)伸栄製作所・(株)日武設備・グリーンロジテック(株)・(株)服部金属・金子商店・春陽苑・えすばわーる伊佐沼・日本サツシガラ(株)・常盤工業(株)・ポプラの樹(株)富士薬品・鈴木商店・みつばち作業所・川越アトレ福祉の店川越市役所・高階市民センター内福祉喫茶 茶房ひととき・南古谷大樹作業所

にじの家の生活や、

行事におきましては、

大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



皆様からの  
 ご支援に感謝して



平成三十一年一月一日から平成三十一年三月三十一日まで

「川越にじの会後援会」にご寄付いただいた方々のお名前を掲載いたします。なお、紙面の都合上、敬称は略させていただきます。

《後援会加入者》

一ノ瀬辰一郎・小林スミ子・福田 皖・林 茂・内田達夫

《一般寄付者》

(福)川越にじの会後援会・島田剛

平成30年度会計報告 (平成31年3月31日現在)

収入の部 社会福祉法人 川越にじの会後援会 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	18,165	18,165	0	
後援会会費	1,250,000	933,000	△317,000	
その他の収入		100,000	100,000	バザー・喫茶
寄付金		0		
合計	1,268,165	1,051,165	△217,000	

支出の部 (単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
法人への寄付金	1,220,000	1,038,265	△181,735	
通信費・雑費	30,000	12,900	△17,100	
内訳 (事務費他)		(0)		
(通信費)		(0)		加入者負担金
(払込料金)		(9,900)		
(活動費)		(3,000)		
(慶弔費)		(0)		
次年度繰越金	18,165	0	△18,165	
合計	1,268,165	1,051,165	△217,000	

社会福祉法人 川越にじの会後援会は平成31年4月15日に開催された総会をもちまして解散致しました。長年に亘り、後援会活動にご協力頂き誠にありがとうございました。

季節の食材を  
 使った献立

栄養士 松岡 知紀

4月に入り、春に旬を迎える季節の野菜をスーパー等で見掛けることが多くなってきました。

今回は春の食材を使った、ご家庭で手軽に作れる献立を紹介したいと思います。

「しらすと葱の  
 ピザパン」

<材料> 4人分  
 食パン……………4枚  
 しらす干し……………30g  
 ねぎ……………1/2本  
 オリーブ油 ……大さじ4  
 ピザ用チーズ……………80g

<栄養成分> 1人分  
 エネルギー……………415Kcal  
 タンパク質……………14.3g  
 カルシウム……………207mg  
 食塩相当量……………1.8g

①葱は斜めに薄切りにして、ボウルに入れ、しらす干しとオリーブ油を加えて混ぜる。

②食パンの上を油を軽く切りながら塗り広げ、ピザ用チーズをのせ、その上からボウルに残った油をかける。

③オーブントースターで、3〜4分ほんのり色づくまで焼いたら出来上がりです。

編集後記

新年度になり、広報担当のメンバーが新しくなりました。今回の号では、広報担当経験者と新人職員が広報誌作成において相談や確認をしい、完成することが出来ました。また、今回の三面については、今後、にじの家を背負っていく新任職員の紹介を掲載しました。一人ひとりの意気込みを是非読んで感じてもらえればと思います。

今号も完読して頂きありがとうございました。

【広報担当】

日隈 聡・阿部 晴香  
 時田 由依・樋口 春菜  
 小林 果鈴・赤井 直人